



LIAISON



2023年

企画・編集

(公社)日本栄養士会

医療事業推進委員

LIAISON(リエゾン)とはフランス語で「かけはし」「橋渡し」などの意味で、この情報紙は医療で活躍する管理栄養士・栄養士と(公社)日本栄養士会との情報のかけはしを目指しています。

INDEX

- ・情報紙LIAISON創刊に寄せて
- ・おしえて！それな～に？『認定管理栄養士・認定栄養士』『専門分野別認定制度』を学ぼう
- ・医療に役立つコーナー『(公社)日本栄養士会入会のご案内』・『診療報酬改定の最新情報』
- ・となりの施設の気になる情報『突撃！医療事業推進委員に聞いてみた』
- ・編集者のつぶやき

情報紙「LIAISON」創刊に寄せて

(公社)日本栄養士会 常任理事(医療事業推進委員長)/武蔵野赤十字病院 栄養課長 原 純也

皆様こんにちは。この度は(公社)日本栄養士会医療職域発行のLIAISONを手にとって頂き有難う御座います。このLIAISONは、医療に従事する管理栄養士・栄養士へ、もっと身近で有益な情報を届けることを目的に、今年度より企画し発行することになりました。実は、(公社)日本栄養士会のHPは有益な情報が満載であるにも関わらず、会員の皆様からは『欲しい情報のページまでたどり着けず困っている』といった意見や『会員以外の方々のアクセスが少なく情報の取得まで至っていない』などといった意見が事業推進委員には報告されていました。そこで『もっと日本栄養士会(医療職域)を知ってもらうには？』『栄養士会活動にもっと興味・関心を持って貰うためのきっかけ作りをしたい』などといった事業推進委員から出た意見を基に、このLIAISONが生まれました。この情報紙は、医療事業推進委員から医療で活躍する全ての管理栄養士・栄養士へ向けて発信する熱い思いを詰め込んだ企画となっています。このLIAISONというネーミングですが、本来は「音がつながること」を意味するフランス語が語源となっているようです。この「つながる」といった意味で管理栄養士・栄養士と(公社)日本栄養士会との「つながり」を深めるための「橋渡し」となる機関紙にしていきたい。その様な意味を含めています。(公社)日本栄養士会の情報に加え、各種関連学会の最新情報や事業推進委員が普段している仕事などを紹介したり、日頃の素朴な疑問に答えるコーナーなども盛り込みたいと思っています。まだまだ生まれただばかりのLIAISONを皆さんの手で大きく育てて頂きますと幸いです。簡単ではございますが、創刊に寄せてのご挨拶とさせていただきます。



日頃耳にする難しいワードを噛み砕き優しく解説するコーナー『おしえて！それな～に？』



今回は富山県の西能病院で活躍する米原恭子さんに

「認定管理栄養士・認定栄養士」と「専門分野別認定制度」について解説頂きます。

(公社)日本栄養士会(医療事業推進委員)/西能病院 栄養科長 米原恭子

突然ですが皆さんは、天丼はお好きですか？海老や茄子に南瓜、ししとう…かき揚げなども美味しいですよ。私も大好きです！今回は、この美味しい天丼を例に(公社)日本栄養士会が会員のキャリア支援として進めている「認定管理栄養士・認定栄養士制度」と「専門分野別認定制度」についてお話します。まず例えるならば、管理栄養士・栄養士の資格を天丼の丼(器)だとします。その器へ最初に盛り付けられるご飯は、入職後に日々の業務から得られた経験や技術、または生涯教育や学会で得た知識など、いわゆる管理栄養士・栄養士のスキルにあたります。そして、そのスキル(ご飯)が「栄養の指導」などを責任持って実践できるレベルに到達したと認める資格が「認定管理栄養士・認定栄養士」にあたります(美味しいご飯という保証ですね)。ここのご飯が不味い(スキルが不十分だと)と、いくら美味しい天ぷらをご飯の上にものせても美味しい天丼は完成しませんよね。さあ、美味しいご飯(認定管理栄養士・認定栄養士)が準備出来たら上にのせるのは、いよいよメインの天ぷらです。天ぷらの具材も海老、アナゴ、かき揚げなど色々あるように「専門管理栄養士」も、がん、腎臓病など種類は豊富です。(裏面へ続く)





メインの天ぷらは海老にするかアナゴにするか(どの専門管理栄養士を選択するか)、皆さんが自身で調理(目標を立てプランニング)し、美味しい天丼(自身のキャリアアップ)を作っているのです。私は病院に勤めて30年経ちます(気づけばそんなことになっていました(笑))。振り返ると社会情勢や診療報酬改定、病院の方針等々に応じて管理栄養士・栄養士に求められることは日々変化し、自分自身の目標も、あっちにフラフラ、こっちにフラフラしていた時期もあったように思います。ですが、各都道府県が主体で開催している生涯教育を受講し、キャリアシートで研修の記録と評価を行い、それを職場で実践!そして、また評価する…いわゆるPDCAサイクルの実践力を養うことで、自分の目指す管理栄養士像や目標が明確になっていったと感じています。日々の栄養管理や給食管理でも、このPDCAサイクルは大切ですよ。認定管理栄養士・認定栄養士にご興味のある方は、ぜひ(公社)日本栄養士会HPを覗いてみてください。

<https://www.dietitian.or.jp/career/>



医療に役立つ情報コーナー

■私達と一緒に栄養の未来築きませんか?



(公社)日本栄養士会では、各都道府県栄養士会とともに、新人さんからベテランの方まで、さまざまなフィールドで活躍する管理栄養士・栄養士の皆様をあらゆる角度からサポートしていきます! 栄養士会へ入会することで「こんな時どうすればいい?」「もっとスキルアップしたい」「こんな取り組みを頑張っています」などなど、多くの情報を共有して色々な悩みを解決するヒントを得ることが出来ます。皆さん一人ひとりの活躍で栄養の未来を切り開きませんか?。気になる方は、是非一度HPを覗いてみては如何でしょうか。詳しくはこちらをご覧ください。

<https://www.dietitian.or.jp/join-us/>



診療報酬改定の最新情報



(公社)日本栄養士会では管理栄養士・栄養士に関わる診療報酬改定の最新情報や関連するQ&Aなど、多くの情報をHPにアップしています。しかも、会員限定で「褥瘡対策事項も含めた栄養管理計画書」「周術期栄養管理計画書」「早期栄養介入管理加算」の様式例や手順書などがダウンロード可能!また、過去の改定情報(平成28年度~令和2年度)も解り易く学ぶことができます。「あれ?」と思ったら是非一度HPを覗いてみてください。お得な情報が満載ですよ!

<https://www.dietitian.or.jp/data/medical-fee/>



となりの施設の気になる情報『突撃! 医療事業推進委員に聞いてみた』

今回は「患者食のお茶は栄養部門で用意するの?」を調査しました!

皆さんの病院では患者食のお茶をどのように提供していますか?看護部門等から「患者食のお茶は栄養部門で用意して」と言われて対応に困ったことは無いですか? また、最近は衛生面などで患者食のお茶提供を止めたという話も耳にします。そこで、患者食のお茶提供の実情を22名の(公社)日本栄養士会の医療事業推進委員に突撃調査してみました!! 結果と詳細は以下の通りです。



- ①栄養部門で配膳トレーにお茶を載せて配膳:5名
- ②食事時間に合わせて看護部門などが患者へ配茶:12名
- ③お茶を病院で提供していないもしくは止めた:5名

結果は②が最も多く、お茶を病棟まで運んだり湯呑の洗浄・消毒などは栄養部門で対応し、配茶は看護部門で対応していました。③ではお茶はデイルームのサーバーや自動販売機、売店などで患者さん自身に対応して貰うとのことでした。以上!現場から報告でした。

悩んだ時もお気軽に…



日本栄養士会

嬉しい限りです。

編集者のつぶやき
医療で活躍する管理栄養士・栄養士のための情報紙『LIASON』楽しんで頂けたか?今回はパイロット版として作成してみました。リエソンの意味ご存じでしたか?特定機能病院などではチーム医療としてリエソンが活躍していると思います。医療でリエソンというと身体科と精神科の医療をつなぐ。という意味で使われています。この情報紙『LIASON』も医療で活躍する管理栄養士と、その活躍を支えるための様々な情報を発信している(公社)日本栄養士会との「架け橋」になりました。そんな思いで企画しました。少しでも皆さんの役に立てれば嬉し